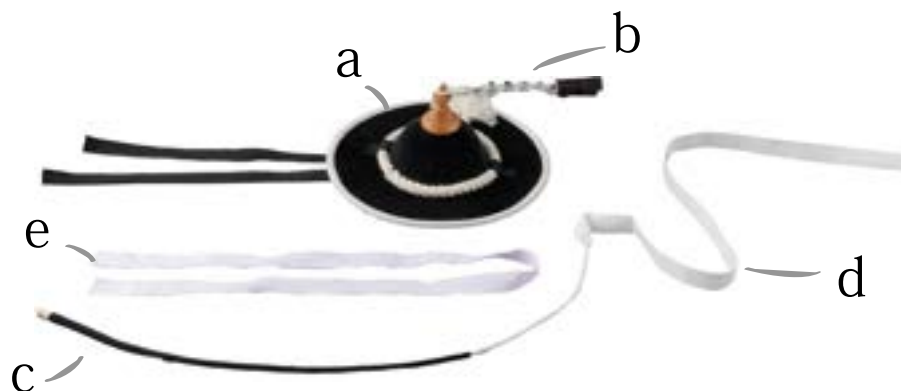




상모<サンモ>

K0810

名称 サンモ / 農樂の帽子^{ぼうし}

韓国

農樂の演奏者^{えんそうしゃ}がかぶる帽子^{ぼうし}で、漢字では「象毛」と書きます。土台の部分（a. ポンゴジ）は、昔は豚などの動物の毛をつかって、手作りしました。帽子の先についた紙（d. センピジ）をぐるぐるまわして空中に円を描いたり、ちょうちょが舞うような姿をあらわしたりします。

a. 병거지 <ポンゴジ>帽子^{ぼうし}の土台

b. 진자 <チンジャ>まわす部分

c. 물채 <ムルチェ>むち

d. 생피지 <センピジ> 紙

e. 백선 <ペクソン>平ひも

※a→b→c→dの順に繋げてください。

※eは、ぼうしの固定に使います。

「農樂衣装着方シート」をみてね。

神野先生からのひとこと

この帽子^{ぼうし}はもともと、兵士が戦争に行くときにかぶっていたものですが、のちにお祭りの太鼓^{たいこ}の演奏者^{えんそうしゃ}や舞踊手^{ぶようしゅ}がかぶるようになりました。



a .흑두건 <フットウゴン>

b .상모꽃 <サンモコッ>

K0820

名称

トウゴンとサンモコッ / 頭巾と花

韓国

農樂の演奏者が頭にかぶる頭巾と、花の飾りです。おもにサンモを付けるときに、下にかぶるものですが、この2つだけでも使うことがあります。

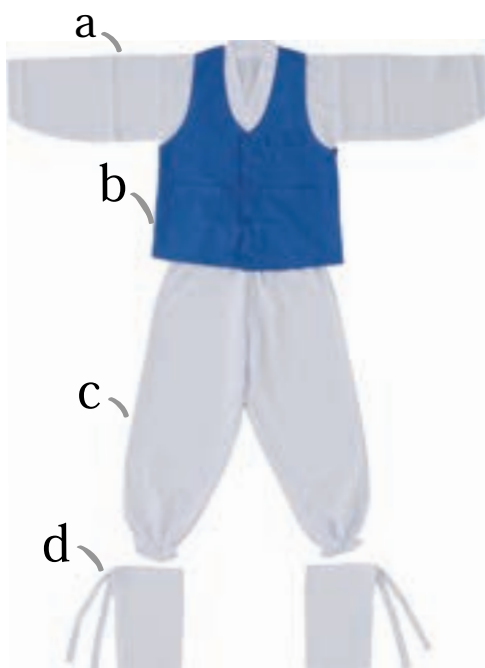
- a. 흑두건 <フットウゴン> 黒頭巾
b. 상모꽃 <サンモコッ> サンモ用の花



고깔<コッカカル> 花笠

神野先生からのひとこと

農樂のかぶりものには、
ほかにも「コッカカル」と呼ばれている
花笠もあります。



민복<ミンボク>

K0830

名称

ミンボク / 民服

韓国

農樂の衣装のいちばん基本的なセットです。白色の上下は、朝鮮時代の一般庶民の男性が、ふだん着ていた服です。お正月やお祭りの日には、大事にしている色とりどりのチョッキを着て、農樂の演奏をするときは帯をしめます。

a. 저거리 <チョゴリ>上衣

b. 조끼 <チョッキ>ベスト

c. 바지 <パジ>下衣

d. 행전 <ヘンジョン>脚絆

神野先生からのひとこと

日本の着物とちがうところは、チョゴリのそでや、パジの足の部分が曲線になっているところです。おどりのも、円を描くような動きが多く、衣服とおどりの関係性が見られます。



삼색띠 <サムセクティ>

K0840

名称

サムセク ティ / 三色帯

韓国

農樂^{えんぞう}を演奏するときには、たいてい色とりどりの帯^しを締めます。

中国から伝わった「陰陽五行説^{いんようごぎょうせつ}」のなかで、木、火、土、金、水をあらわす五つの色が大切にされてきました。今では、この青、赤、黄の三色セットが一般的^{いっぱんてき}ですが、地域^{ちいき}や演奏グループによってさまざまな色の帯が使われています。

神野先生からのひとこと

農樂のおどりは、くるくると回転する動きが多いので、そのたびにこの帯がひらひらと揺れるのがとてもきれいなんですよ。



미투리 <ミトウリ>

K0850

名称

ミトウリ / 農楽のシューズ

韓国

農楽^{えんそう}を演奏するときにはくシューズです。

もともとはわらや草で編んだチップシン（わらじ）をはいていましたが、今では合成の皮とゴムでその形をまねて作られています。伝統楽器店で売られています。

神野先生からのひとこと

シューズのつま先が少し上がっているのは、わらじの下にはくポソン（韓国の^{たび}足袋）のつま先が見えている様子をあらわしています。指が2本にわれている日本の^{たび}足袋^{ちが}とは違いますね。



もともになっているチップシン（わらじ）



ポソン^{たび}（足袋）

写真提供：韓国 国立民俗博物館



뽕과리 <クエンガリ>

K0860

名称

クエンガリ / かね

韓国

「ケンケン（クエンクエン）」と鳴る楽器という意味。金属の意味を持つ「スエ」という名前でも呼ばれます。この楽器のリーダーは「サンスエ」と呼ばれ、農楽隊全体を引っばる指揮者の役割をします。利き手でチェ（ばち）を持ち、反対の手で楽器を持ちます。楽器の内側に入っている手の指で音を調整して、色々な音色を作り出します。

a. 뽕과리 <クエンガリ> かね

b. 뽕과리 채 <クエンガリチェ> かねのばち

神野先生からのひとこと

「農楽」は韓国の伝統的な打楽器の音楽で、「プンムル」ともいいます。そこから、のちに「サムルノリ」という音楽のジャンルも生まれました。

韓国のこども時間
～オプション楽器 解説動画～

国立民族学博物館
(みんぱく) の
公式 YouTube チャンネルで
見てみよう！！



オプションパックに入っている DVD でもみられるよ！！



징 <チン>

K0870

名称

チン / どら

韓国

「チーン（ジーン）」と鳴る楽器という意味。リズムの頭の音を叩く、とても重要な役割をします。真ちゅうで作られたどらです。

a. 징 <チン> どら

b. 징 채 <チンチェ> どらのばち

韓国のこども時間
～オプション楽器 解説動画～

国立民族学博物館
(みんぱく) の
公式 YouTube チャンネルで
見てみよう！！



オプションバックに入っている DVD でもみられるよ！！

神野先生からのひとこと

村祭りの演奏の時に、遠くから一番
よく聞こえるのはこのチンの音です。



북 <プク>

K0880

名称

プク / たいこ

韓国

低音の太鼓で、力強いベース音を刻みます。半島南部の地域のお祭りでは、チャングよりもプクの方が中心的な役割をします。

a. 북 <プク> たいこ

b. 북 채 <プクチェ> たいこのばち

神野先生からのひとこと

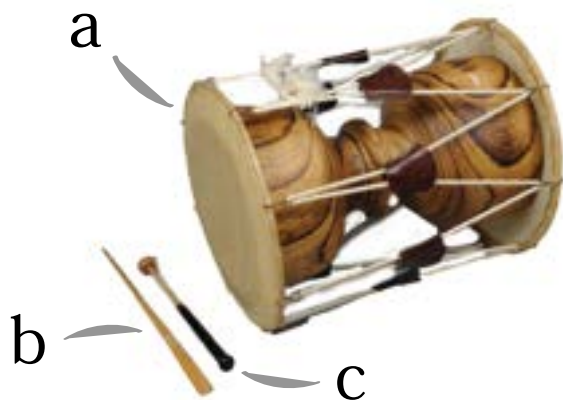
チョルラ ナムド チンド チンド
全羅南道の珍島では、「珍島プクチュム」という、
プクを叩くおどりが有名です。村のお祭りから、
舞台での演奏まで、たくさんの人に楽しまれています。

韓国のこども時間
～オプション楽器 解説動画～

国立民族学博物館
(みんぱく) の
公式 YouTube チャンネルで
見てみよう！！



オプションバックに入っている DVD でもみられるよ！！



장구 <チャング>

K0890

名称

チャング / つづみ

韓国

漢字では、「長鼓」または「杖鼓」と書きます。農樂のお祭りのときには、布で樂器を体にとりつけて、踊ったり、くるくる回ったり、ステップを踏みながら叩きます。
胴は桐の木をくりぬいて作り、両側に牛や馬、犬などの皮を張ります。

- a. 장구 <チャング> つづみ
- b. 열채 <ヨルチェ> つづみのばち
- c. 궁채 <クンチェ> つづみのばち

神野先生からのひとこと

韓国の打樂器の花形、主人公ともいえる樂器です。
二種類のばちや手をつかって、音の高さのことなる両面の皮を叩くので、色々な音が出ます。
小さなオーケストラともいわれています。

韓国のこども時間
～オプション樂器 解説動画～

国立民族学博物館
(みんなぼく) の
公式 YouTube チャンネルで
見てみよう！！



オプションパックに入っている DVD でもみられるよ！！

